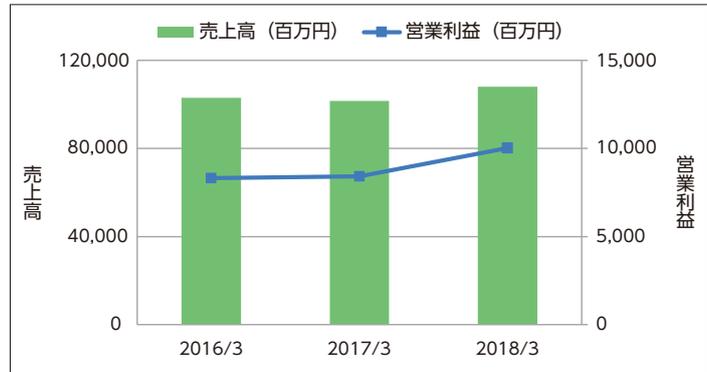
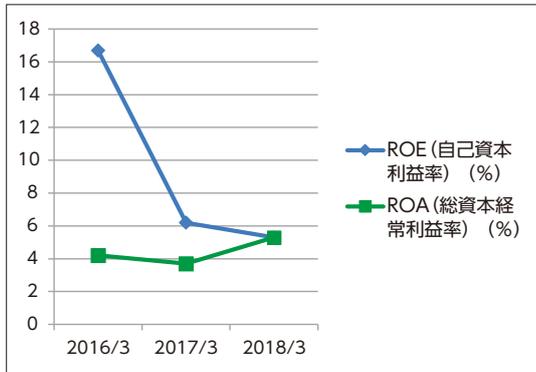




中期経営計画

当社グループは、創立100周年の2020年に向けてChallenge For 2020をスローガンに、“強くて、信頼されるケミカル・カンパニーとしてのブランド力のある会社”を目指しています。2015～2017年度にかけての第6次中期経営計画は「強いケミカル・カンパニーに向けた変革と実行」をテーマに既存事業と成長基盤の強化に向けた諸施策に取り組み、最終2017年度の営業利益は目標111億円は下回ったものの、100億円の大台を確保することができました。



第7次中期経営計画（2018～2020年度）の概要

最終年度となる当社創立100周年の2020年度に向け、既存事業の守りをしっかり固めつつ、成長に向けた攻めの取り組みを強化し、「すべてのステークホルダーにとって魅力あるケミカル・カンパニーの実現」を目指します。

それまでの間、期間利益を着実に積み上げながら株主資本の充実を進めると共に、外部環境の変化にも耐え得る強固な収益基盤と財務基盤を築き上げ、本中期経営計画の期間中の出来る限り早い時期に復配を果たせるように努めてまいります。

ISK 目指すべき企業グループ像

強くて、信頼されるケミカル・カンパニーとしての
ブランド力のある会社



■ 無機化学事業

これまで国内の塗料・インキの各業界に酸化チタンを安定供給してきた実績を土台に市場や需要家が求める価値あるオンリーワンの素材を開発し、それをグローバルに展開することを目標に、現状の収益力の維持に向けた“守り”と、成長に向けた“攻め”を骨子とした課題に取り組みます。

■ 有機化学事業

これまで高い安全性と効果の高い農薬を生み出してきた有機合成技術と世界各国で農薬登録を取得し現地市場に投入してきた開発・登録力に磨きをかけ、世界の農薬マーケットで存在感のある研究開発型メーカーとしての地歩を着実に強化して行きます。

将来の成長基盤作りとして取り組む動物薬やバイオ医薬など新規事業の開発は早期の収益獲得を念頭に、効率的な事業開発を進めます。